

関東部会この一年

今期の関東部会の活動は、次の通りです。

1 月例研究会

全史料協親会の全国大会月を除き、11回の研究会を開催しました。第98回から第108回迄です。各文書館や編纂室等の日常活動に関連した、史料調査・収集・整理・目録記述・保存・普及事業がテーマとして取り上げられて

います。これらの多岐にわたる報告内容は、私達の活動の幅の広さと見る事もできますが、と同時に、私達自身の方法論の模索と見る事も出来ます。仕事を通じて知り得た知識や疑問を積み重ねる努力は、まだまだ必要なことだと痛感しています。

また昨年度から、県立文書館で行う研究会には、県下市町村へもご案内を致しており、多くの方々の参加をいただいております。今後も続けていきたいと考えております。

なお火災にあった史料の取り扱い方が、2度にわたっての研究会で話し合われましたが、

被災した史料に対する扱い方と同時に、災害を受けないためには施設や周辺環境まで含めた予防努力が必要との話し合いが出来た事は、大きな成果だったと思います。

もう一つ、中国とイギリスの文書館制度とアーキビスト養成制度を、それぞれの国のアーキビストに話していただいた事も、収穫の一つでした。

報告者やテーマについての詳細は、別表の通りです。

2 文書館学研究会（外書講読会）

10回開催しました。クランチャー著「From Memory to Written Records」を輪読しました。

3 会報の発行

会報「アーキビスト」の第29～第31号を発行しました。第86回～第101回の月例研究会の報告内容を始め、海外文書館の動向をつたえる「海外文書館通信」、「司法資料問題研究フォーラム」の内容や「専門職員養成国会請願」等時々のトピックスを載せています。

関東部会月例研究会（平成5年5月～平成6年4月）、回数欄が同一数字の場合は、複数者で発表したもの。

回数	年月日	曜	氏名	所属	テーマ	会場
0098	1993.05.29	土	伊藤 然	草加市史編纂室	草加市史編さん室の活動／被災文書の収集・整理を経験して	草加市役所南庁舎A会議室
0099	1993.06.30	水	市川 彰	茨城県立歴史館	行政資料の整理について／事例報告	茨城県立歴史館
0100	1993.07.16	金	鈴木一哉	群馬県立文書館	群馬県における県史、市町村誌史編さんと史料保存	群馬県立文書館
0100	1993.07.16	金	木口悦子	高崎市史編さん室	高崎市史近世部会の編さんと史料保存	群馬県立文書館
0100	1993.07.16	金	馮 恵玲	中国人民大学档案学院副教授	中国におけるアーキビスト養成について	群馬県立文書館
0101	1993.08.28	土	高野 修	遊行寺宝物館特別研究員	近世寺院文書について／時宗総本山遊行寺文書を中心にして	遊行寺書院
0102	1993.09.27	月	森 安彦	国立史料館	民具と文書の悉皆調査とその保存／武蔵野市の事例	国立史料館
0103	1993.11.13	土	有元修一	埼玉県平和資料館	いわゆる「平和資料館」について	埼玉県平和資料館
0104	1993.12.10	金	小川雄二郎	都市防災研究所	災害から学ぶ文書館の防災	国立史料館
0105	1994.01.24	月	飛高 守	久喜市公文書館	久喜市公文書館について／施設見学を兼ねて	久喜市公文書館
0106	1994.02.28	月	荒川善夫	栃木県立文書館	栃木県立文書館の教育普及事業の変遷について	栃木県立文書館
0107	1994.03.15	火	A・ジェンキンス	琉球大学教養部英語科	イギリスの公文書館制度について	国立史料館
0108	1994.04.22	金	安澤秀一	駿河台大学	情報資源蓄積の社会的基盤と情報関連専門職／駿河台大学文化情報学部の目指すもの	駿河台大学

4 文献目録編集委員会の活動

この1年間は、文献調査を続けました。毎週土曜日が定例の作業日となっています。今迄に目録を採りコンピュータへの入力を済ませたものが、既に4000点を超えました。文書館に関する文献は、まとまった本は少ないもののいろいろな書物に散見され、予想以上に多いことが判りました。新鮮な驚きを感じています。

当初は本年秋の刊行を予定しておりましたが、採録点数が増えた事により作業量が増大しましたので、来秋の刊行を目指して頑張っております。

また昨秋には、全史料協の機関会員の方へ文書館関係論文の所在調査依頼を致しましたところ、沢山のご回答を頂戴しました。目下の調査書物に加えさせていただきます。紙面を借りましてあらためてお礼を申し上げます。

東京都公文書館・水口政次・水野保